

本資料は2014年11月1日付で技術諮問委員会より提出された報告書を参考までに原子力リスク研究センターにて仮訳したものです。正式な報告書は英文版の原文のみとなりますのでご注意ください。

原子力リスク研究センター 技術諮問委員会
一般財団法人 電力中央研究所
〒100-8126 東京都千代田区大手町 1-6-1

2014年11月1日

ジョージ・アポストラキス氏
一般財団法人電力中央研究所
原子力リスク研究センター所長
〒100-8126 東京都千代田区大手町 1-6-1

件名：NRRCの研究計画の評価

ジョージ・アポストラキス殿

2014年10月27日から31日に実施された原子力リスク研究センター（NRRC）の技術諮問委員会の初回会議で、NRRC職員はNRRCの研究計画を技術諮問委員会に発表し、評価と優先順位付けの勧告を求めた。戦略的な計画策定とは、将来を見通し、研究プログラムとして、何を、どのように、なぜ行うのかを練り上げるための基本方針と行動について相手に伝わるようにするための構造化されたプロセスである。策定される計画では、以下のような基本的な質問に対する答えが含まれたものである必要がある。

- 短期的・長期的なニーズは何か（ギャップは何か、またこれらのギャップはいつまでに解消される必要があるのか）。
- 誰がステークホルダー（利害関係者）か。
- どの組織がニーズを出しているのか。
- ギャップはどのようにして解消されるのか。
- 関連する研究活動間の依存関係はどのようなものか。

戦略的な計画策定とは、組織が優先順位を決め、リソースを確保し、プログラムの成果を期待しているステークホルダーのニーズに応えるための活動を行いやすくするための実践的なプロセスである。

結論

技術諮問委員会の初回会議でNRRC職員が発表した研究計画には、上記質問に関する情報の詳細が不足していた。さらに、時間的制約があり、議題上、他の事項を優先したため、これらの質問に対する回答を会議閉会前に得ることができなかった。その結果、技術諮問

本資料は2014年11月1日付で技術諮問委員会より提出された報告書を参考までに原子力リスク研究センターにて仮訳したものです。正式な報告書は英文版の原文のみとなりますのでご注意ください。

委員会は、NRRCの研究計画の優先順位に関する評価を、2015年1月の委員会会議まで繰り延べることとした。技術諮問委員会は、NRRC職員が技術諮問委員会の1月会議中に上記質問への回答を含めて、NRRCの研究計画を体系的かつ簡潔に発表するよう、NRRC職員に要請した。技術諮問委員会はその時点で、コメントと提言を示す予定である。

敬具

ジョン・ステットカー（本人署名）

委員長

参考資料

記載略